※令和４年度以降入学生用

学校番号	

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	新編「文学国語」（大修館書店）						
副教材等	改訂版　現代文単語ノート　（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代の小説、評論、随想や古典作品まで幅広く学んでいきます。
・現代小説はもちろん、近代の名作小説も学んでいきましょう。
・語彙学習を積み重ねて、文章読解や日常生活で役立てましょう。

２　学習の到達目標

（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国 の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（2）　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を 養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深め たりすることができるようにする。
（3）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を　向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社　会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につけようとしている。	言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付けようとしているとともに、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	明日をひらく ［教材］ 「少なくとも最後まで歩かなかった」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること b[読]:文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察すること。 c:生涯にわたって読書に親 しみ自己を向上させること。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	小説を楽しむ ［教材］ 「ナイン」	a:言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して内容を解釈すること。 c:。言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	名作を読む ［教材］ 「山月記」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 b[読]:作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めること。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させること	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	詩を味わう ［教材］ 「永訣の朝」	a:言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 b[書]:文学的な文章を書くために，選んだ題材に応じて情報を収集，整理して，表現したいことを明確にすること。 c:，言葉を通じて 他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めること	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
2学期	社会に生きる ［教材］ 「神去なあなあ日常」	a:言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して，内容を解釈すること。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させること	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	古典の世界 ［教材］ 「かぐや姫の昇天」	a:文学的な文章を読むことを通して，我が国の言 語文化の特質について理 解を深めること。 b[書]:文学的な文章を書くために，選んだ題材に応じて情報	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		を収集，整理して，表現したいことを明確にすること。 c:文化としての言語，　多様な言語芸術や芸能などの価値に重点を置き，理解したり尊重したりすること			
	表現を味わう ［教材］ 「身内ほど厄介なものはない」	a:言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 b[書]:読み手の関心が得られるよう，文章の構成や展開を工夫すること。 c:言葉 によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	読書の広場 ［教材］ 「さくら日和」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]:作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立し た背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めること c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させること。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
３学期	古典の世界 ［教材］ 「はしたなきもの」	a:文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 b[書]:文学的な文章を書くために，選んだ題材に応じて情報を収集，整理して，表現したいことを明確にすること。 c:文化としての言語，多様な言語芸術や芸能などの価値に重点を置き，理解したり尊重したりすること	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	読書の広場 ［教材］ 「鉄道員」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めること。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めること。 c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させること。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１００　）時間